

登録コード	E7164400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	安達 仁美
英文授業名	Graduate Study					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能						
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	受講者の研究課題と進捗状況に合わせて個別に指示・指導する。後期は、受講者と相談した上で、隔週1回のペースで卒論検討会を開く。また、eALPSを利用して情報を共有し受講生同士で議論する。						
(5)授業計画	第1回：研究課題の設定・検討 第2回：卒業論文の執筆に向けた基礎的作法について 第3回：研究背景・研究目的の検討 第4回：夏休みに向けた課題の整理 第5回：フィールド・文献調査（計画） 第6回：フィールド・文献調査（実施） 第7回：フィールド・文献調査（整理） 第8回：夏休み中の研究成果の報告 第9回：卒論中間発表会（10月） 第10回：章構成の確認・検討 第11回：データ分析作業（方法の確認と検討） 第12回：データ分析作業（結果の検討） 第14回：卒論発表会（2月）・授業アンケートの実施						
(6)成績評価の方法	授業のねらいの到達度を測るために以下を総合して判定する。 ・論文の構成と内容（60％） ・研究に取り組む姿勢（検討会への参加など）（30％） ・卒論発表会におけるプレゼン（10％） ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可						
(7)成績評価の基準	・卓越している...自分の研究課題について、文献やフィールド調査を通して明確な根拠を示しながら、誰もが納得できる表現方法で自分の考えを論じることができ、学内に限らず学外において成果を発表している。 ・かなり上である...自分の研究課題について、文献やフィールド調査を通して明確な根拠を示しながら自分の考えを提示し論じることができ、学内において成果を発表している。 ・やや上にある...自分の研究課題について、文献やフィールド調査を通して明確な根拠を示しながら自分の考えを提示し論じることができる。 ・水準にある...自分の研究課題について、根拠を示しながら自分の考えを提示し論じることができる。						
(8)事前事後学習の内容	授業時間に限らず、研究テーマの設定から2月の卒業論文発表会まで計画的に研究を進めること。						
(9)履修上の注意	・安達研究室所属の学生は必ず履修すること。 ・適宜指導教員や研究室のメンバーに相談しながら、主体的・計画的に研究に取り組むこと。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	オフィスアワー：メール予約で随時 メールアドレス：adachi@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	各自の研究内容に合わせて適宜紹介する。						
【参考文献】	各自の研究内容に合わせて適宜紹介する。						